



経済金融活性化特区、  
情報特区の企業と雇用者  
令和7年7月末現在

■ 企業数 50社  
■ 雇用者数 2,370人

# 特区で働く!

## 『株式会社fan-mily』

○何をしている会社?  
弊社の事業は「受託開発」と「人材育成」です。  
受託開発事業では、企業のニーズに応じたアプリやWebシステムの開発を行っています。  
一人材育成事業では、年齢や目的に合わせた複数の教育プログラムを開発しています。小中学生向けのプログラミング教室「FUCHU」、高校生・大学生・高専生向けの「やんばるハッカソン」や社会人向けの「LEADME」などです。地域に根差した人材育成を通じて、未来の一人材を育てるこ

とを目指しています。

### ○名護市に進出したきっかけ

私はもともと東京でアプリ開発のエンジニアをしていましたが、新型コロナをきっかけにフルリモートの働き方が広がり、全国どこでも働ける環境になりました。もともと沖縄が好きだったこともあり、思い切って沖縄に移住しました。

その中で、アプリ開発会社を立ち上げたいという思いが強まり、名護市を拠点に起業しました。名

護市には沖縄高専や名桜大学といった教育機関が集中しており、一人材を育てて県内外に輩出していくには理想的な環境だと話を伺いました。

### ○何をしている会社?

護市には沖縄高専や名桜大学といった教育機関が集中しており、一人材を育てて県内外に輩出していくには理想的な環境だと感じ、特区施設への入居を決めました。

### ○やりがいや大変なこと

一人材育成事業では、子どもたちがプログラミングをとおして目に見えて成長していく姿を間近で見られることに大きなやりがいを感じ、自由で柔軟な発想に刺激を受けています。一方で、年齢やスキルに応じて一人ひとりに合った教え方を考える必要があります。その点は難しさでもあります。世代間のギャップを感じることもありますが、積極的にコミュニケーションを取ることで信頼関係を築いています。

### ○会社の魅力は?

私自身、地域に貢献したいという思いが強く、それが現在の事業や教育活動にも表れていると感じています。子どもたちにも、自分の生まれ育った地域に愛着を持ち、社会に貢献したいという意識を持つてほしいです。



「名護から世界へ!」今後の展望を語る  
松田代表取締役

### ○今後の事業展開

今後は、名護市をモデルケースとして、地域に根差した一人材の仕組みをさらに発展させたいと考えています。小学生から社会人まで一貫した一人教育を提供し、

いう熱意のある方教育に関心があり、人との関わりを大切にできる方にぜひ来ていただきたいと考えています。

子どもたちの成長を支えたい

う人材が名護に戻り、地域で活躍することで経済が活性化し、持続的な地域発展につながると信じています。

名護から世界で活躍できるエンジニアを育てる循環をつくりたいです。プログラミングや論理的思考を早い段階から学び、創造力や問題解決能力を育てることは、子どもたちの将来の進路選択においても大きな強みになります。

さらに、学生と地域企業との連携を強化し、実際のビジネス現場での経験を提供することで、人材育成と地域の新たなビジネスチャンスの創出を両立させていきたいです。

### ご意見・ご感想をお寄せください

お問い合わせ先

地域経済部 商工・企業誘致課 企業誘致係  
TEL.53-7530 FAX.53-7522

特定非営利活動法人NDA  
TEL.55-3333 FAX.55-3332  
メールアドレス:info-nda@nda.city.nago.okinawa.jp

### WEBでも 情報発信しています!

- NDAホームページ  
<https://nda.city.nago.okinawa.jp/>
- 地域経済部 商工・企業誘致課 企業誘致係  
<https://www.city.nago.okinawa.jp/soshiki/chiiikeizai/shoukoukigyouyuchi/>

